

胎内市立中学校

統合準備委員会だより

第3号

令和8年1月発行 胎内市立中学校統合準備委員会

第3回統合準備委員会を開催



小谷委員長の開会の挨拶

12月3日(水)午後1時30分から胎内市産業文化会館で、「第3回胎内市立中学校統合準備委員会」が行われました。

小谷委員長の開会の挨拶の中で、『統合中学校の設置場所』については、前回の会議で「中条中学校とその周辺がふさわしい」という意見にまとまったことの確認がありました。

併せて、「生徒の安心・安全に関して、民家が多いため地域の見守り体制が十分行き届いていること」や「文教地区という形で小学校や高等学校も近くにあること、産業文化会館や市役所などの公共施設も整っていること」、また、「新たに建設用地の取得に様々な手続き等が必要になる他の候補地に比べて開校までの期間が短いこと」などが、主な理由として挙げられたことの確認も行われました。

第3回統合準備委員会の内容

【概要】

- 1 小谷委員長の開会の挨拶（前回の協議内容の確認も含めて）
- 2 これまでの協議の振り返り等をスライドで説明
 - (1) これまでの協議の振り返り
 - ① 統合方式について
 - ② 統合中学校の設置場所について
 - ③ その他の意見について
 - (2) 校名の決定方法について
- 3 意見交換（全体での協議）
- 4 委員長総括
 - (1) 答申案骨子の承認について
 - (2) 次回（第4回）委員会の開催方法等について



事務局からの説明

〈事務局からのスライドでの説明内容〉～「これまでの協議の振り返り」と「校名の決定方法について」～

1 これまでの協議の振り返り

(1) 統合方式について

吸収統合

親や祖父母世代からは、自分が卒業した中学校の校歌を歌わせたいという声が聞かれる。

吸収される学校の生徒やその地域にとっては、「自分の中学校がなくなってしまう」という寂しい思いがある。



新設統合

全ての生徒が新しい意識でスタートできる。

吸収される学校の生徒等の心情に配慮すると、4校統合がよいのではないかと。

4地区の皆さんが納得できる。

全ての生徒が対等な関係で統合できる。

新しい中学校になるというわくわく感がある。

統合準備委員会全体としての意見



☆『新設統合』が適切

(2) 統合中学校の設置場所について

① 中条中学校とその周辺

地域の方々の見守りがある。

既に学校があり、周辺住民の理解が進んでいる。

旧中条体育館の跡地も含めると、敷地の広さも十分である。

徒歩や自転車通学の生徒が多いが、一方で、天気が悪い時には保護者送迎が多くなってしまわないか。

校舎建設のための土地買収が不要、既存の体育館やグラウンドなどが使える、徒歩や自転車で通学する生徒も多いので、スクールバス等のコストも抑えられる。



市役所、産業文化会館、小学校、高等学校など文教施設が近くにある、周辺環境が充実している。

学校に隣接する道路の幅幅だけでなく、周辺道路等の整備も必要ではないか。

② ふれすぽ胎内周辺

部活動や授業などで、周辺施設が活用できる。

登下校時、地域の目が届きにくい。

冬期間は凍結や吹雪など、徒歩通学が大変である。



近くに工場などがあり、災害などが起きた際に不安がある。

土地の買収などにより、開校がかなり遅くなる。

胎内川に近く、水害に弱いのではないか。

部活動でふれすぽ胎内や周辺施設を利用している生徒はそれほど多くないし、授業の時間帯はスポーツ団体等の定期利用などもあり、自由に利用できる時間はほとんどないのではないか。

③ 胎内小学校周辺

駅にも中心市街地にも近い。

交通のアクセスが良い。



交通量が多く、特に朝と夕方は混雑する。

土地の買収などにより、開校がかなり遅くなる。

冬期間は凍結や吹雪など、徒歩通学が大変である。

統合準備委員会全体としての意見

地域の見守り体制

周辺環境の充実

開校までの期間短縮

コストの削減



☆『中条中学校とその周辺』が適地

ただし、周辺道路の整備について検討してほしい



- ・「地域の見守り体制が整っていること」や「周辺環境が充実していること」、「新たに用地取得の必要もなく、既存の施設が利用できるため、開校までの期間が短縮できることやコストが抑えられること」などから、**統合準備委員会全体の意見として、『中条中学校とその周辺が適地である』**という意見にまとまりました。
- ・ただし、「**周辺道路の整備については、検討してほしい**」との意見もあり、その点については、「スクールバスや保護者の送迎の乗降場所を市役所など学校以外の場所にする事で、周辺道路の混雑が緩和できるのではないか。」という意見がありました。



「中学校の統合に向けて体育祭や合唱祭など、4校の生徒が交流を深める機会を設けることによって、生徒がスムーズに統合できるようにしてほしい」という話もありました。



2 校名の決定方法について

広く市民の皆さんから校名候補を募集する。



新しい中学校がスムーズにスタートできるように、今後設置される予定の委員会等に委ねる方法も考えられる。

- ・統合の方式が「新設統合」になったので、『**校名の決定方法について**』も検討・協議していただきました。
- ・その結果、統合準備委員会全体として、『**今後設置される予定の委員会等に委ねる**』という意見にまとまりました。



統合準備委員会全体としての意見



☆「今後設置される予定の委員会等に委ねる」



- ・今後設置される予定の委員会等では、いくつかの部会を設けて、校名のほか、教育課程や通学方法、校歌、制服など細かい部分について決めていただくことになって考えています。
- ・それらの部会には学校教職員ばかりでなく、PTA や地域の方々、本委員会の方にも加わっていただくことも考えています。

〈委員長からの総括〉～答申に向けた具体的な方針の確認～

1 統合中学校の統合方式について

新設統合が適切である

〈主な理由〉

- ① 吸収される学校の生徒の心情に配慮する。
- ② 4校の生徒が対等な関係で統合できる。
- ③ 4地区の皆さんの納得が得られる。
- ④ 全ての生徒が新しい意識でスタートできる。
- ⑤ 新しい中学校になるというわくわく感がある。



2 統合中学校の設置場所について

中条中学校と旧中条体育館跡地を含めたその周辺が望ましい

〈主な理由〉

- ① 地域の方々による生徒を見守る多くの目と心があり、十分行き届いている。
- ② 近くに小学校や高等学校、市役所、産業文化会館などの文教施設があり、環境が充実している。
- ③ 建設用地取得のための手続き等が不要なため、他の候補地に比べて統合までの期間が短縮できる。
- ④ 現中条中学校と旧中条体育館跡地の敷地面積は、新しい中学校の建設地としても十分な広さである。
- ⑤ 冬期間の風雪等による交通渋滞や、災害時には近くに工場がないことでの安心・安全面での不安が少ない。

3 校名の決定方法について

今後設置される予定の委員会等に委ねる

〈具体的な例〉

広く市民の皆さんから校名候補を公募して、今後設置される予定の委員会等で、検討・選考するという方法などが考えられる。



4 統合に向けての配慮事項について

- ① 周辺道路の整備をはじめとして、通学の安心・安全の確保やスクールバス等のスムーズな運行などに努めること。
- ② 統合前から4校の生徒の交流活動を推進し、同じ胎内市の中学生としての意識の醸成に努めること。
- ③ 小規模校において、生徒数の減少により教育活動に支障を来すことのないよう、可能な範囲で開校までの期間の短縮に努めること。ただし、現在の中条中学校の校舎を利用してまで開校を早めるというものではないこと。

第4回委員会に向けて

次回の統合準備委員会は、「答申（案）」について、協議・検討する予定です。引き続き、統合準備委員会で協議・検討された内容については、保護者や地域の皆さまには「市のホームページ」や「統合準備委員会だより」等を通じてお知らせします。ご意見等がありましたら、統合準備委員会事務局までお聞かせください。

=次回（第4回）の開催予定=
期 日：令和8年1月27日（火）
時 間：13:30～15:00
場 所：胎内市産業文化会館 会議室

【発行責任者】統合準備委員会 委員長 小谷 太一郎
【問い合わせ先】統合準備委員会事務局
胎内市教育委員会学校教育課学校教育係
〒959-2807 胎内市黒川1410番地 胎内市役所黒川庁舎2階
TEL 47-2711(代表) Fax 47-2935
e-mail gakuji@city.tainai.lg.jp